



検査情報月報 9月号 ◀ 概要版 ▶



▶ 横浜市衛生研究所では、所内で実施した試験検査などの結果に解説を加えて、**検査情報**月報を発行しています。

【トピックス】新型コロナウイルス感染症の検査（2020年1月～2021年6月）

国内での検査開始期においては、その新たな検査の早期立ち上げ、実施を担ってきました。その後民間検査機関での検査数充実後には、地域内で実際に流行するウイルスの確保・把握や変異解析等も重点としながら、必要な検査を続けています。

主な結果 ▶ 新型コロナウイルス遺伝子検出 PCR 検査は 13,686 例の 14,131 検体について実施し、**2,946 例(21.5%)3,020 検体から新型コロナウイルス遺伝子が検出されました。**

▶ クルーズ船内での感染蔓延事例では、検疫検査の応援を行いました。また、退院のための陰性確認の検査依頼も増加しました。

▶ リアルタイム RT-PCR 検査による N501Y の変異スクリーニング検査では、383 検体の検査を実施し、255 検体が陽性でした。(2021 年7月からは L452R 変異を確認する検査に切り替わっています。)

▶ サンガー法を用いたスパイク領域の遺伝子解析を行って、より詳細なウイルス遺伝子の変異を確認しています。

海水浴場水質調査結果（令和3年度）

環境省からの通知に基づき横浜市内の「海の公園」の海水浴場の水質調査を5月及び7月に行いました。その結果から算出された報告値を、水浴場水質判定基準によって「適(水質AA、水質A)」、「可(水質B、水質C)」、「不適」の5段階に区分しています。

主な結果 ▶ 油膜の有無、透明度及びふん便性大腸菌群数の3項目は「適(水質A)」の基準を満たしていましたが、化学的酸素要求量(COD)はいずれの月も「適(水質A)」の基準である「2mg/L以下」を満たしていませんでした。

▶ 判定区分は、**5月は「可(水質B)」、7月は「可(水質C)」**となりました。なお、昨年令和2年度の5月は「可(水質B)」、7月は「適(水質A)」でした。

横浜市衛生研究所WEBページ情報（令和3年8月）

当 WEB ページは平成 10 年 3 月に開設され、感染症、保健、食品衛生、生活環境衛生、薬事などの情報を提供しています。この記事ではアクセス件数をもとに、どのような情報に関心が寄せられていたかを解説しています。

主な結果 ▶ 8月の総アクセス件数は、**横浜市感染症情報センターが提供している記事へのアクセスを中心**として、212,560 件でした。